

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

○新しい価値と可能性を追求する教育を実践し、多様性を尊重し自立できる子どもを育てる。

【学校 目標】

○「やさしく かしく くたくましく」

◇豊かな心を持ち、多様性を認め、命やものを大切にしている生徒。 ◇確かな学力と学ぶ意欲、生きる力を身につけた生徒。 ◇健康でたくましい生徒。

【現状と課題】

○視点1 校内研究部を中心に、授業での「めあて・振り返り」の実施をしているが、全職員としての取り組みについて探求が必要である。
 ○視点2 基本的な課題が十分理解できていないため、物事を深く考える力や先を見通した力が身につけにくい。自分の思いや考えを伝えたり、説明することを苦手とする生徒が少なくない。
 ○視点3 先輩教員の授業指導や学級経営さらには生徒指導に関する力量が高まるよう、若手教員が増えている中で組織力を高め全職員の資質高めていく必要がある。

取組事項および評価指標

※評価:【達成状況 90%以上→A 70%以上90%未満→B 70%未満→C 時期→1回目:9月 2回目:2月】
 ※達成状況の割合(%)は、目標数値に対しての達成状況の割合です。

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①生徒が主体的に取り組み、対話的・協働的な学びの実現を目指す。	①すべての生徒が意見をもてるような学習課題を設定するとともに、学び合いの学習方法を適宜盛り込むことができた。 ②単元や毎時間の「めあて」を明確にし、生徒が学びを深めることができる「振り返り」の時間を設けることができた。 ・「学力向上を目指した指導体制・指導方法の工夫改善ができた」 【学校評価アンケート評価80%】		

【視点2】学びを支え合う集団づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①すべての生徒が「わかる」「できる」を実感できることを目指した授業づくり	①教育のユニバーサルデザインを意識し、すべての生徒にとって、授業の進行や説明等が分かりやすくなるようにできた。 ②ICTを積極的に活用することで、生徒が自分の考えを発表しやすくなった。 ・授業では先生達がいろいろな工夫(教材やグループ学習等)をしてくれている。【学校振り返りシート評価75%】		

【視点3】協働して取り組む学校づくり			
取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①組織的なOJTの推進。ミドルリーダーを核として全校体制で若手教員はもとより、すべての教員が、生徒の学ぶ力を育成するための指導力・授業力の向上を図る。	①授業参観や校内研修、OJT研修で、異なる年齢層や教科の教員と交流したり、相談したりを通して、授業や学級経営、生徒指導の改善が図ることができた。 ②有効であった教材・教具のデータ等を他の教員と共有したり、それを活用したりできた。 ・学級の雰囲気はよく、集団としての活動や取り組みは積極的である。【学校振り返りシート85%】		

◇「学ぶ力向上策」の実効性を高めるために、いつ、どのように職員全体で共通理解を図り、共通実践し、検証・改善していくのか、時期や手立て等を記載してください。

- ・年度当初に学ぶ力向上推進の組織を明確にして、すべての教員で共有する。また、課題について全職員の共通理解を図り、計画的に進める。また、進捗状況を共有する場を年に複数回持つ。
- ・授業づくりの際には、取り組み内容を焦点化して、継続して取り組みやすいようにする。
- ・通常学級における特別支援の進め方の視点を取り入れた研修を、校内研究時に取り入れる。
- ・年度の途中でそれまでの取組状況を確認して、その後の取組方針を明確にする。

今年度の取組の成果と課題

--